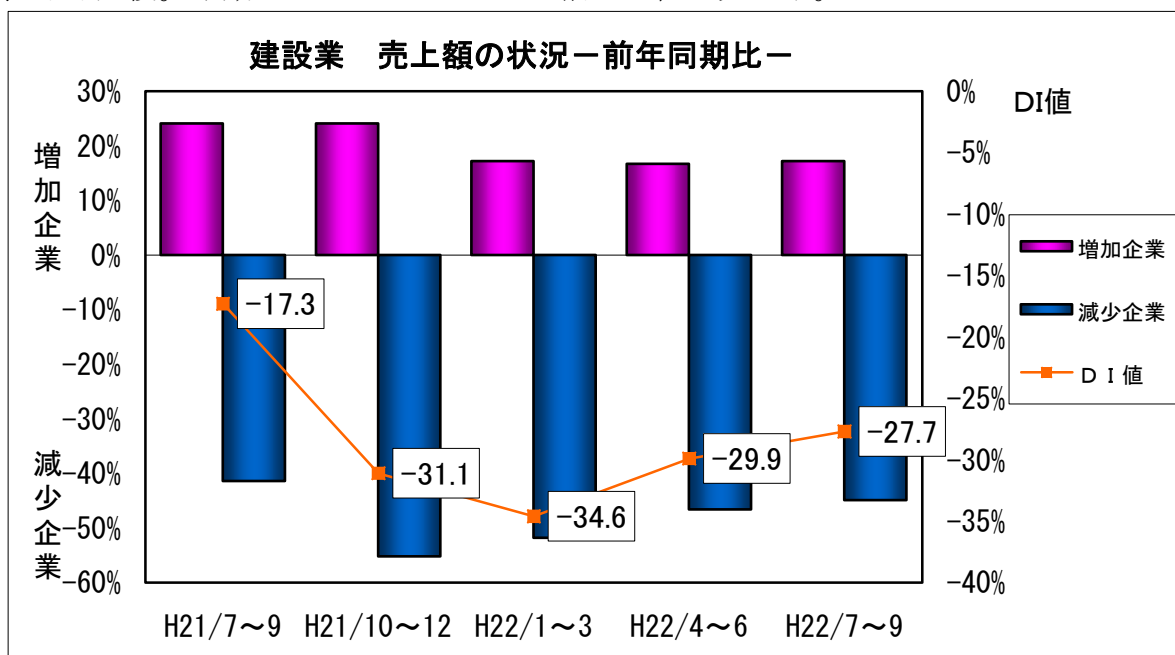




(2) 主要項目の概況（前年同期比）

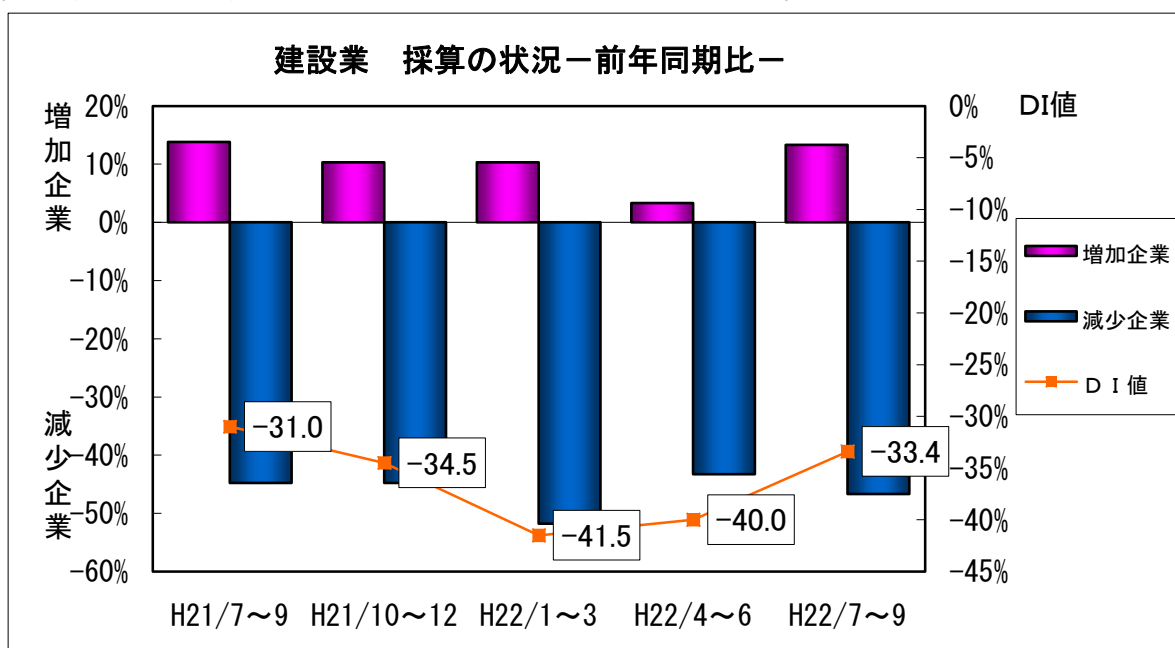
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I値は、マイナス 27.7。前期のマイナス 29.9 から 2.2 ポイント上昇、やや回復。来期はマイナス 40.1 と大幅な悪化の見込み。



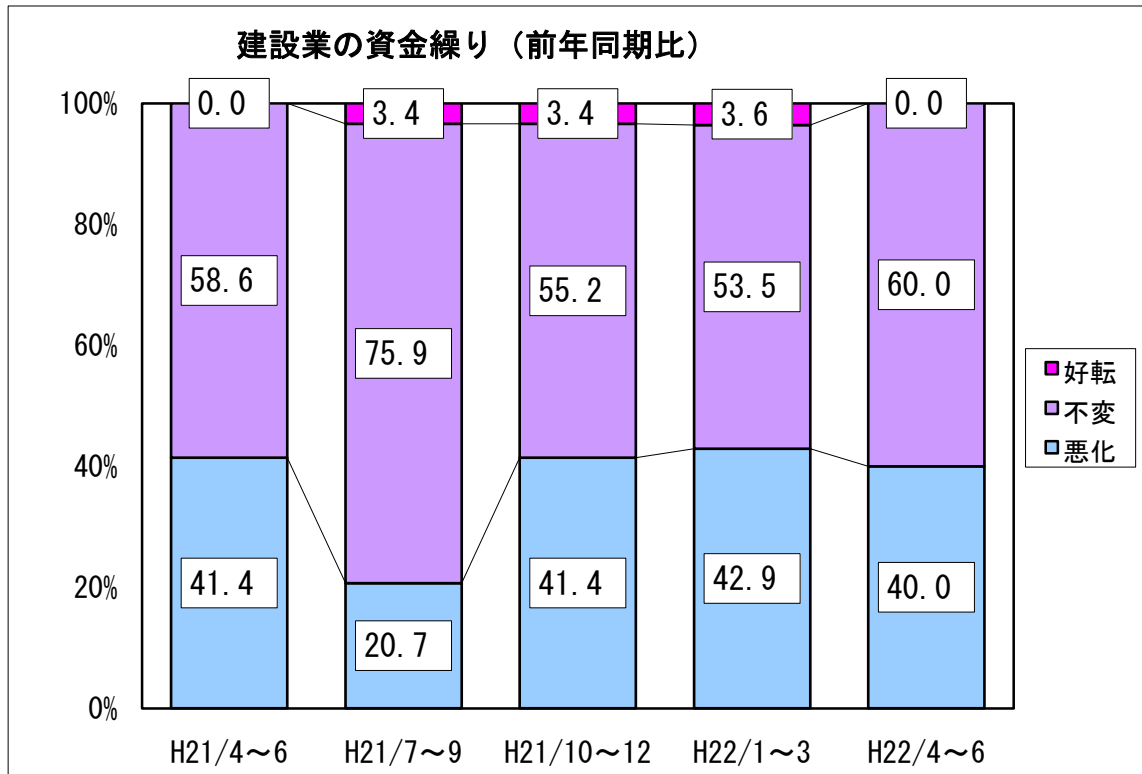
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、マイナス 33.4。前期のマイナス 40.0 から 6.6 ポイント上昇、回復。来期見通しは、マイナス 33.3 とほぼ横ばいの見込み。



### ③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス 27.6。前期のマイナス 40.0 から 12.4 ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス 24.1 とやや回復の見込み。

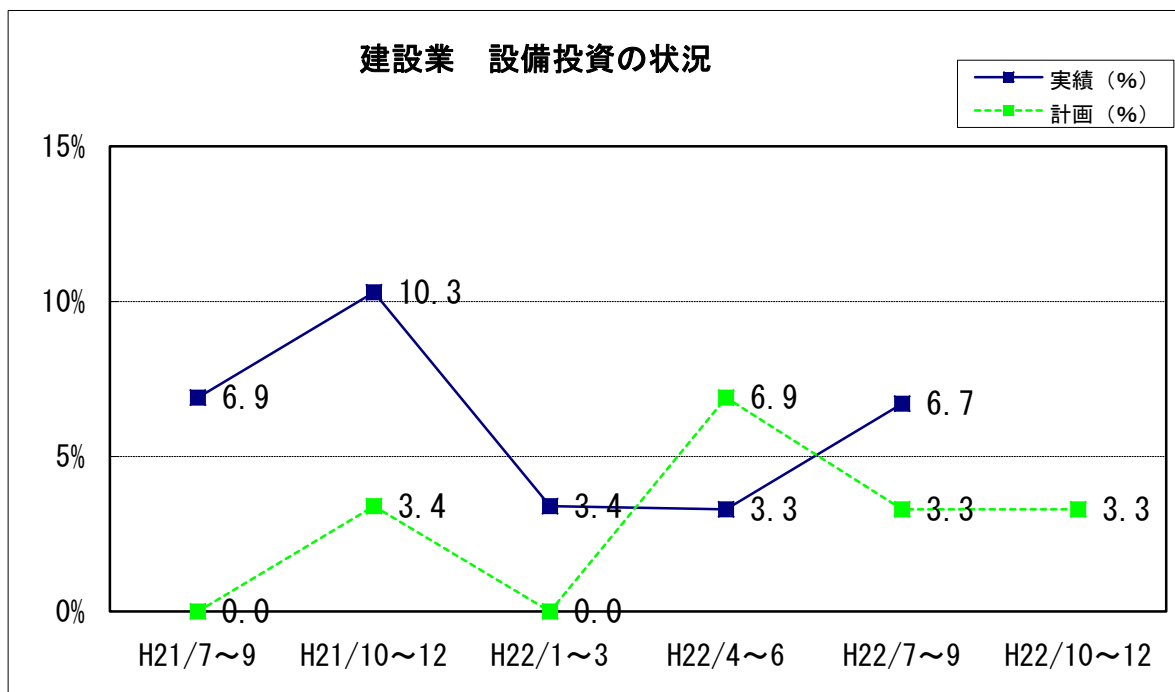


#### ④設備投資

##### 新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数) (%)	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	29 96.7
今期実施 (実数) (%)	2 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	28 93.3
来期計画 (実数) (%)	1 3.3	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	29 96.7

今期設備投資を実施した企業は2社(6.7%)。前期(平成22年4~6月期)の実施企業1社(3.3%)から1社増加。来期も1社(3.3%)が、建設機械への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 72.4%→今期 78.6%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 55.2%→今期 46.4%)
- ・ 「取引条件の悪化」 (前期 34.5%→今期 39.3%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 41.4%→今期 35.7%)

となっている。

